

9/26(土)13:20-16:00

13:20-13:30 開会の辞

13:30-16:00 シンポジウム 映像アーカイブの実践と未来

相川陽一 | 甲斐賢治 | ミツヨ・ワダ・マルシアーノ 司会: 門林岳史

9/26(土)16:50-18:00

[A1] 司会: 菅原慶乃

16:50-17:20

エドワード・ヤン映画における歴史の表象 | 趙陽

17:30-18:00

ディアスポラとプリミティヴの表象

——チャン・リュル『群山』『福岡』とユン・ドンジュ | 西谷郁

[B1] 司会: 塚田幸光

16:50-17:20

蒐集の暴走——『コレクター』における「新興階級」の表象

五十嵐拓也

17:30-18:00

ジョン・カサヴェテス『ラヴ・ストリームス』における

身体イメージ | 壺田諒

[C1] 司会: 草原真知子

16:50-17:20

エミール・レイノーのステレオシネマ | 太田曜

17:30-18:00

機械の眼、コンピュータの眼

——自動化する映像についての試論 | 増田展大

9/27(日)10:00-11:50

[A2] 司会: 宮本明子

10:00-10:30

アジア・太平洋戦争末期の日本記録映画における

「技術」の問題 | 森田のり子

10:40-11:10

1940年代初頭の批評言説における小津映画の

「日本的なもの」——『戸田家の兄妹』を中心に

具蕙原

11:20-11:50

D. W. Griffithと小津安二郎のインターテキスト的連関

前川道博

[B2] 司会: 堀潤之

10:00-10:30

1940年代後半から50年代におけるイギリス女性映画人の

考察——ミュリエル&ベティ・ボックスを中心に | 高崎郁子

10:40-11:10

アレクサンドル・ソクーロフ『エルミタージュ幻想』における

アイコンの正教的機序

——脱領域的映画表現の分析 | 福島可奈子

11:20-11:50

〈静止寸前イメージ〉を超えて

——タル・ペーラ監督の『サタンタンゴ』における

映画空間をめぐる | モルナール・レヴェンテ

[C2] 司会: 岩城寛久

10:00-10:30

『SPACY』の時空間について再考する | 松井浩子

10:40-11:10

歴史に対する個人の想像力——ナム・ファヨンの

『半島の舞姫』(2019)に関する考察 | 馬定延

11:20-11:50

「非-アバンギャルド宣言」——メディアアートの

新しい形と方法論を巡って | 織田理史

[D2] 司会: 桑原圭裕

10:00-10:30

アニメーション研究史の試み | 小出正志

10:40-11:10

放送作家像の時代的变化とYouTube | 金龍郎

11:20-11:50

メディアの変化と見ることについて

——覗き見るという行為 | 荒木慎太郎

9/27(日)13:20-15:10

[A3] 司会: 木下千花

13:20-13:50

愛と憎しみの絆——増村保造の『千羽鶴』(1969)

における女性たち | 徐玉

14:00-14:30

戦後の『東海道四谷怪談』映画化作品における

「姉の幽霊」の創出 | 広瀬愛

14:40-15:10

『シン・ゴジラ』における虚構と現実の表現 | 田中素子

[B3] 司会: 角井誠

13:20-13:50

映像作品における「サイン」の本質的意義について

築地正明

14:00-14:30

映画における詩的身体への探索

——詩的演技身体からのアプローチ | 蔭斐

14:40-15:10

ルイ・ドゥリュックのフォトジェニーとは何か | 駒井政貴

[C3] 司会: 橋本英治

13:20-13:50

ビデオゲームの連辞と範列 | 泉順太郎

14:00-14:30

ファッションコレクション写真の

AI画像認識に関する一考察 | 平野大

14:40-15:10

CGによる2次元-3次元空間の遷移と融合の表現研究

野地朱真

[D3] 司会: 大橋勝

13:20-13:50

『miniature』——アウトフォーカス・マクロ・電動ジンバル

撮影による8ミリシネフィルム表現 | 川口肇

14:00-14:30

『女拓/クレーン/ヘリコプター〜嶋本昭三トリロジー〜』

(Video作品、17:00、2019) | 伊奈新祐

14:40-15:10

『夢の中で倫理が生まれる』——パフォーマンス的な

映像空間の構成とその考察 | 原田健一

9/27(日)15:50-17:00

[A4] 司会: 松谷容作

15:50-16:20

伊藤潤二とJホラー | 宮本法明

16:30-17:00

ホラー映画の「驚愕」論——非ステレオタイプのな

「驚愕」の機能的役割について | 西川秀伸

[B4] 司会: 前川修

15:50-16:20

1850年代フランスにおける写真の「芸術性」と商業性

——ギュスターヴ・ル・グレの

写真史上の位置づけをめぐる | 鈴木実香子

16:30-17:00

ウォーカー・エヴァンズ《オートポートレート》分析

——「鏡」と「直接性」をめぐる | 桑名真吾

[C4] 司会: 橋本英治

15:50-16:20

災害アーカイブの映像生態系としての特性に関する考察

青山太郎

16:30-17:00

スマートフォン・タブレット端末での映像表現の可能性

宮下十有

[D4] 司会: 大橋勝

15:50-16:20

映像作品『Sympathy for the earth

-The Boring Stones-』 | 安部裕

16:30-17:00

“Animazon 2019”

——ブラジル・ベレン、アマゾンジャングルと

日本アニメ・マンガの熱狂 | 芦谷耕平